

尼崎市社協会館跡地の有効活用に係る サウンディング型市場調査の結果について

尼崎市社協会館については機能移転に伴い、跡地を含めたエリア全体の具体的な活用方法について、検討を進めております。

再整備等にあたり、民間活力の導入も見据えた施設整備及び維持管理運営に関する適正な手法について検討を進めるため、この度、民間事業者様と意見交換を行いましたので、次のとおり概要を公表します。

(1) 調査概要

1社から参加申込をいただき、意見交換を行いました。

(2) サウンディング型市場調査 参加業種

参加事業者	
マネジメント事業者	1社
合計	1社

(3) 主な意見

サウンディング調査により得られた主な意見は以下のとおりです。

① 社協会館跡地の利活用について
<ul style="list-style-type: none">・DBO方式の場合、立地上のハンデはあるものの、公園との一体整備で公園と施設、双方の魅力を高めていくことが考えられる。(加えて、駐車場を整備することで収益も期待できる。)・大物公園の再整備で屋外遊具を充実させていく方針であれば、社協会館跡地では、ファミリー世帯の利用に加え、学校や幼稚園、保育所などの利用を促進させるなど公共性を持たせた計画も考えられる。
② ①を実現する上での官民連携手法について
<ul style="list-style-type: none">・運営面で魅力あるプログラムの提供が可能な事業者を選定することが求められる。・社協会館跡地の周辺のエリア全体の価値が向上することによって、P-PFIなども検討の余地はある。(※ただし、時間を要する)